

## 令和5年9月定例会 水俣市一般会計補正予算の概要

議第65号 【専第10号】 令和5年度水俣市一般会計補正予算（第6号）

議第66号 【専第11号】 令和5年度水俣市一般会計補正予算（第7号）

議第71号 令和5年度水俣市一般会計補正予算（第8号）

（単位：千円）

会計名	補正前 予算額	7月3日専決 補正予算 (第6号)	7月20日専決 補正予算 (第7号)	9月補正予算 (第8号)	補正後 予算額	伸率
水俣市一般会計	16,062,834	26,888	10,017	118,520	16,218,259	0.9%

## 補正予算のポイント

### 9月補正予算第8号

#### ○新型コロナウイルス感染症経営安定化緊急支援事業

51,872千円

物価高騰の影響を受ける生活者及び事業者の支援のため、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンを実施します。

#### ○新型コロナウイルス感染症対策事業（農業）

10,472千円

飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家に対し、支援を行います。

#### ○新型コロナウイルス感染症対策事業（漁業）

3,500千円

原油価格高騰の影響を受ける漁業者に対し、支援を行います。

## 補正予算のポイント

7月3日専決 補正予算第6号

**○災害復旧事業（公共土木施設）** **19,088** 千円

令和5年6月30日から7月3日にかけての大雨により被災した道路・河川等の復旧に係る費用です。

**○災害復旧事業（林業施設）** **7,800** 千円

令和5年6月30日から7月3日にかけての大雨により被災した林道施設の復旧に係る費用です。

7月20日専決 補正予算第7号

**○省エネ家電製品買換え促進補助金交付事業** **10,017** 千円

省エネ家電製品買換え促進補助金の予算を増額するものです。

# 水俣市PayPayポイント還元キャンペーン事業

(新型コロナウイルス感染症経営安定化緊急支援事業)

補正予算額51,872千円

[経済振興課]

## (目的)

- 今般の物価高騰の影響を受ける生活者および事業者の支援。
- 市民のみならず、市外の買い物客を誘引することで創出される集客効果及び消費喚起。

## [事業概要]

- 水俣市内キャンペーン対象店舗でPayPayによる対象キャッシュレス決済で買い物した場合、30%分のポイントを付与するキャンペーンを実施する。
- キャンペーン期間：令和5年12月1日（金）～12月27日（水）
- 還元率：決済額の30%
- 決済1回ごとのポイント付与上限：3,000円相当
- 期間中ポイント付与上限：10,000円相当



物価高対策



ポイント還元で  
生活者・事業者支援

水俣に買い物  
に行こう

経済対策  
(外貨獲得)



# 新型コロナウイルス感染症対策事業（農業）

（畜産飼料価格高騰対策支援金）

補正予算額10,472千円

[農林水産課]

○飼料価格高騰により影響を受ける畜産農家に対し、農家の経営規模に応じ支援金を交付し、次年度以降の営農継続、経営改善を支援する。

## 〈事業概要〉

### 〈現状・課題〉

○畜産飼料の価格高騰  
・新型コロナウイルス感染症等の影響により、飼料価格の高止まりが長期間継続し、畜産農家の経営環境が悪化している。

### 〈効果〉

○次年度以降の営農継続、経営改善

### [支援金]

#### ○対象者

市内在住または本社が市内にある法人のうち令和5年2月1日現在の畜産統計で報告があった者で令和6年度も営農継続し経営改善の取組を行う者

#### ○支援金額

繁殖親牛（ 3,000円/頭）  
繁殖子牛（ 9,000円/頭）  
肥育牛（21,000円/頭）  
乳用牛（18,000円/頭）  
豚（ 2,000円/頭）  
鶏（ 300円/羽）

※配合飼料価格高騰分の年間使用量の1/2相当額支援金額が10,000円以上となるもの

#### ○申請受付期間

令和5年11月1日～令和6年2月29日

#### ○対象者数

10経営体  
（令和5年2月1日畜産統計による）

# 新型コロナウイルス感染症対策事業(漁業)

補正予算額3,500千円

[農林水産課]

## 1 概要

コロナ禍における原油価格高騰の影響を受けている漁業者の経営の安定を図るため、昨年度に引き続き国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、漁船用燃油の購入費の一部を支援する。

## 2 課題・問題

コロナ禍における原油価格高騰に伴い、漁船の燃油価格も上昇し、漁業者の経営を圧迫している。

漁業者は出漁しなければ収入(漁獲)を得ることはできないが、近年は漁獲量も不安定で、毎回漁獲があるとは限らず、この場合経費が高むのみであるため出漁控えにつながってしまう。

## 4 期待される効果

- 漁船に使用する燃油の一部を補助することで、経費の支出を抑えることができ、漁業経営の安定に寄与する。
- 市場への安定的な魚介類の出荷につながる。

燃油高騰による  
出漁控え

燃油代の一部を補助

出漁回数の増加



## 3 事業概要

漁業者が使用する漁船の燃油の価格上昇分の一部を補助する。

- (1)補助対象者  
水俣市漁業協同組合、水俣市漁業協同組合員等
- (2)補助対象燃油  
A重油、軽油(漁船に使用するものに限る。)
- (3)補助対象期間  
令和5年3月1日～令和6年1月31日
- (4)補助額  
1ℓあたり30円

## 〈参考〉

- 水俣市漁業協同組合 組合員数  
108人(令和5年3月末現在)
- 前年度補助実績(令和4年7月～令和5年2月)
  - ・A重油 約1,600千円(45,709ℓ)
  - ・軽油 約933千円(26,655ℓ)

# 災害復旧事業（公共土木施設）

補正予算額19,088千円

[土木課]

- 令和5年6月30日～7月3日の梅雨前線豪雨により、市道日本一長い運動場線の道路のり面が崩壊。  
そのほか市道12路線において、小規模な崩土や路肩小崩壊が発生。河川についても、2河川において倒木が発生。
- 熊本県が設置している水俣市内の雨量計（3箇所）で、24時間雨量121mm～149mm  
時間雨量41mm～50mmの降雨を観測。

## 〈日本一長い運動場線被災状況〉



## 〈その他被災状況〉



## 〈事業概要〉

○職員手当	150千円
○応急復旧費	6,550千円
○測量設計費	1,070千円
○災害復旧工事費	11,318千円

## 一般会計補正予算に係る記者説明会資料

### <農林水産課林業施設災害>

#### 1 被害概要

令和5年6月30日から7月3日にかけての大雨により、林道7路線において災害が発生しました。被害総額は7,800千円となります。被害の内容は主に路面の浸食となります。

#### 2 全体

番号	路線名	場所	被災内容			復旧計画	被害額 (千円)
			概要	延長	幅		
1	岡山線	袋	路面流出・倒木	300	4.0	碎石敷き均し	2,000
2	谷山線	深川	路面流出・法面滑り	200	4.0	碎石敷き均し 法面補強	2,000
3	榎迫線	古里	暗渠閉塞	10	3.0	土砂撤去	500
4	下山線	越小場	土砂流出・路面流出	30	4.0	碎石敷き均し 土砂撤去	500
5	芦刈線	湯出	路面流出	100	4.0	碎石敷き均し	1,000
6	倉谷上小場線	宝川内	土砂堆積・側溝閉塞	30	6.0	土砂撤去	500
7	鳶山線	長野	崩土・路肩崩れ	30	4.0	碎石敷き均し	1,300
計	7路線						7,800

#### 3 被災状況(谷山線)



7月20日付け市長専決による補正予算について

環境課環境もやい推進係

**省エネ家電製品買換え促進補助金交付事業**

合計10,017千円

【内訳】省エネ家電製品買換え促進補助金（増額前：10,000千円） 10,000千円  
補助金交付決定通知等郵便代（増額前：21千円） 17千円

※増額前の予算については、6月補正で議決（6/29）されたもの。

●事業内容

【対象者】

- ・自らが居住する市内の住宅の既存のエアコン又は電気冷蔵庫を新品（未使用）のものに交換するために購入し、設置した方
- ・同一世帯で生活する方がこの補助金の交付決定を受けていない方
- ・水俣市に住所がある方
- ・市税の滞納がない方
- ・水俣市家庭版環境ISO「みなまたエコダイアリー」に登録がある、または、新たに登録する方

【対象製品】

- ・日本産業規格C9901に基づく省エネルギー基準達成率が2027年度基準で86%以上のエアコン及び2021年度基準で100%以上の電気冷蔵庫
- ・製造年が9年以上前（2014年以前）の製品の買換えに限る。
- ・市内事業者からの購入に限る。（インターネット、テレビ通販等による購入は補助対象外。）
- ・1世帯で1回限り。（複数台購入した場合、一括で申請。）
- ・家庭で使用するものが対象で、業務（事務所等）で使用するものは対象外。

【補助金額】

- ・購入金額合計額（消費税及び設置費用等含む。）の2分の1（1万円未満切り捨て）で上限5万円。
- ・エアコンと冷蔵庫を同時購入した場合、合計額で計算。

【事業開始】

- ・令和5年7月1日（土）以降に購入したものが対象（※申請の受付は7月18日～）

●専決までの経緯

- ・「広報みなまた（7月1日号）」、市HP、市公式LINEでこの事業について周知したところであるが、7月3日（月）には30件以上の問い合わせがあり、その後も1日に10数件

の問い合わせがあるなど、市民の関心の高さが伺えた。

- ・ 約 200 件分準備していた補助金が数日で消化されてしまう懸念が発生したため、事前に財政課等とも協議を行った。
- ・ 申請初日の 7 月 1 8 日（火）には申請のための臨時窓口（市役所 1 階）を設け、係員総出で対応した結果、189 件の申請があった。
- ・ 事業所等に聞き取りしたところ、初日（7/18）の時点で、申請待ち（※納品、設置工事が未完了）が 20 件以上ある見込みであったことから、予算額（10,000 千円）が不足することが明確であったため、予算の増額を要求し、専決処分となった。

●現在の実施状況（R5.8.21 時点）

- ・ 申請件数 412 件（エアコン 291 件、冷蔵庫 121 件）、19,970 千円
- ・ 予算執行状況 19,050 千円／20,000 千円（393 件分）

●参考データ

- ・ 申請者の年代は 70 歳代が多く、全体の 3 割を占める。70 歳代以上が 53.2%、60 歳代以上だと 75%になる。高齢者の申請が多い。
- ・ 購入先の市内事業所は 30 か所に及ぶ。
- ・ 家電の購入、設置工事、その他経費を合わせると、6,000 万円以上の売り上げがあったことになり、この事業による一定の経済効果が認められる。
- ・ この事業での家電買換えによる CO2 の削減効果は 65 t（市全体の 0.05%、家庭部門の 0.2%）と想定される。

